

令和8年6月22日

国土交通省関東地方整備局

江戸川河川事務所

株式会社大林組 東京本店



サマータイムはじめました。

～猛暑時間は働かない。建設現場の働き方をチェンジします～

株式会社大林組が施工する「R6江戸川水閘門改築（I期）工事」の工事現場では、猛暑による熱中症リスクの低減を目的として、「サマータイムチャレンジ」（猛暑時間の施工回避）等に取り組みます。

特に、熱中症リスクが最も高まる梅雨明け後の7月13日から8月7日までの期間において、作業時間を7時30分～13時30分に変更し、涼しい時間帯に作業を集中させます。これにより、「熱中症リスクの低減」「施工品質の確保」「生産性の維持」を図ります。

近年、夏の猛暑は一時的な異常気象ではなく恒常化しており、建設現場における安全確保は重要な課題となっています。

本取組では、従来の熱中症対策に加え、働く時間帯そのものを見直すことで、熱中症リスクの高い時間帯の作業を回避し、より実効性の高い熱中症対策にチャレンジします。

さらに、移動式冷却設備や体調管理システム等を併用することで、現場全体の安全性向上を図るとともに、「熱中症ゼロ」を目標とした新たな現場管理に取り組みます。

<発表記者クラブ>

竹芝記者クラブ 神奈川建設記者会 茨城県政記者クラブ 千葉県政記者会 埼玉県政記者クラブ
都庁記者クラブ

<問い合わせ先>

【R6江戸川水閘門改築（I期）工事における猛暑対策（別添資料）について】

株式会社大林組 本社 コーポレート・コミュニケーション室

電話：03-5769-1014

広報課長 筒井（つつい）

広報課 松木（まつき）

【建設工事における猛暑対策（制度関連）について】

関東地方整備局 江戸川河川事務所

電話：04-7125-7311（代表） FAX：04-7125-7339

副所長 菅（かん）（内線：204）

工務第一課長 太田（おおた）（内線：311）

2026年度 猛暑に向けた対策

～(株)大林組 江戸川水閘門工事事務所～

サマータイムチャレンジ(猛暑時間の施工回避)

- 作業時間 7:30～13:30(実働6時間)
- 対象期間 7/13～8/7(26日間)
- ※梅雨明けの最も熱中症リスクが高い時期

近年の夏は異常気象ではなく、恒常的な酷暑として働くひとの健康と生産性に深刻な影響を与えている。「暑さに備える」以外に「働く時間を変える」対応が急務とされている。

涼しい時間に作業を集中し、【熱中症リスクの低減/施工品質の維持/生産性の維持】をはかる。酷暑期間の作業は有効な熱中症対策と併せつつ、コアタイムとし、涼しい期間に作業時間を延長するなど年間を通じた工程調整をはかる。

サマータイムは **6** 時間作業



通常は **8** 時間作業

熱中症対策車

— 現場を巡回して作業員の水分補給をしやすいするための支援車両



冷凍車

— 作業員のからだを丸ごと冷却できる支援車両



アイスラリー冷蔵庫

— カラダの中から熱中症対策ができる飲み物を、一定時間入れておくだけで簡単に作ることができる。



ゲンバイタル — リストバンドから収集された現場作業員の体調管理をサポートするシステムで「全作業員の可視化」と「熱中症ゼロ」を両立



クラウドから作業員の体調(心拍数等)を監視。異常時はメール通知